

津山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本漢字能力検定	
科目基礎情報							
科目番号	0070		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年		5		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	参考書：国語辞典，漢和辞典，日本漢字能力検定 2 級以上に対応した問題集（どの出版社のものでもよい），漢検（日本漢字能力検定協会）公式ホームページ http://www.kanken.or.jp/						
担当教員	江原 由美子						
到達目標							
学習目的：常用漢字や熟語等の日本語知識について理解を深め,それらを適切に活用して表現する力を高める。							
到達目標							
1．漢字が関わる日本語の知識を増やし，それらを適切に用いて表現できる。							
◎ 2．効果的な説明方法や手段を用いて，コミュニケーションを図ることができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	日本漢字能力検定 2 級以上に優秀な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に良好な成績で合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に合格する。		日本漢字能力検定 2 級以上に合格できない。
評価項目2	日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，より良いコミュニケーションを行うことができる。		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，円滑なコミュニケーションを行うことができる。		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かし，コミュニケーションを行うことができる。		日本漢字能力検定 2 級以上の漢字の知識を活かしたコミュニケーションを行うことができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：国語 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：人文学／言語学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（3）生きるための活力と，その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（E）研究能力の育成，E－2：与えられた制約の下で，自主的・計画的・継続的に自己学習できること」である。 授業の概要：漢字の学習を自主的に行い，日本漢字能力検定（漢検）の受験でその成果を試す。						
授業の進め方・方法	授業の方法：担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。 成績評価方法：日本漢字能力検定 2 級以上に合格した者は，担当教員に申し出るとともに，学年末試験の最終日までに教務係へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で単位認定を審議し，合・否で評価する。						
注意点	履修上の注意：所定の期日までに，選択科目履修願を提出すること。また，本科目は資格取得による科目であり，単位の取得には単位取得申請手続きを行うことが必要である。選択科目（自発的学習科目を除く）の内，教務委員会で認定される単位数は，一般科目については4単位以内である。 履修のアドバイス： ・公開会場（県内は岡山市と倉敷市に設置）で個人受験をすること。2019年度の公開会場の検定日は，第1回が6月16日（日），第2回が10月20日（日），第3回が2020年2月16日（日）。 ・2級は，C B T 受験も可能。県内の試験会場は，岡山市と倉敷市の他，津山市（PCらいふパソコンスクール津山校テストセンター：津山市大手町1-1NTTビル1F）にも設置されている。 基礎科目：国語Ⅰ（1年），国語Ⅱ（2），国語Ⅲ（3），国語Ⅳ（4） 関連科目：漢字が関わる全科目 受講上のアドバイス： ・2級は，高校卒業・大学・一般程度のレベル（すべての常用漢字について，読み書きや，文章中での適切な使用ができるレベル）であるが，実力で合格することは難しく，受験対策の勉強が必要である。 ・1級は常用漢字（2136字）を含む約6000字，準1級は常用漢字を中心とした約3000字が対象漢字となる。どちらの級も大学・一般程度のレベルとされているが，合格するにはかなりの努力が必要である。 ・以上をふまえ，自身の漢字能力と受験日に合わせて，学習を進めること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本漢字能力検定についてのガイダンス。			単位認定の要件について理解する。	
		2週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。			受験日を考えて勉強を進めることができる。	
		3週	同			同	
		4週	同			同	
		5週	同			同	
		6週	同			同	
		7週	同			同	
		8週	（前期中間試験）				
	2ndQ	9週	担当教員の指導のもとに，日本漢字能力検定 2 級以上の受験に対応した問題演習を，各自が自主的に行う。			受験日を考えて勉強を進めることができる。	
		10週	同			同	
		11週	同			同	
		12週	同			同	
		13週	同			同	

後期		14週	同	同
		15週	(前期末試験)	
		16週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
	3rdQ	1週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		2週	同	同
		3週	同	同
		4週	同	同
		5週	同	同
		6週	同	同
		7週	同	同
		8週	(後期中間試験)	
	4thQ	9週	担当教員の指導のもとに、日本漢字能力検定2級以上の受検に対応した問題演習を、各自が自主的に行う。	受検日を考えて勉強を進めることができる。
		10週	同	同
		11週	同	同
		12週	同	同
		13週	同	同
		14週	同	同
		15週	(学年末試験)	
		16週	合格者に対する、単位取得申請手続きの説明。	期日までに単位修得申請手続きを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0